



NO.1422

7月9日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F 四三、四四五七



松浦議員の一般質問（その2） マイナンバー制度の 見直し地方から

2項目めは、マイナンバーカードをめぐる誤交付・誤登録があり制度の土台を揺るがす中、6月2日、保険証を廃止してマイナンバーカードを国民に強要する「改定マイナンバー法」が、自民、公明、維新、国民などの賛成で可決・成立しました。しかし、トラブル続きが指摘されています。制度ができて7年になるが、市の普及状況は。

市民環境部長 平成28年1月から交付が始まり、1年間で交付率は約8%、その後、マイナポイント第1弾の申込期限となった令和3年4月末で交付率は23.8%、第2弾中（申込期限は今年9月末）の5月末では72.6%となっている。

保険証廃止後の影響について

問 全国的にトラブルが発生して保険医団体連合会が、保険証を残すよう求めている。市内の医療機関でも不安があると思われるが、そのことは把握しているか

市民環境部長 現時点では医療機関からの不安の声は寄せられていない。マイナ保険証の不具合で窓口で10割負担請求された事例は、マニュアルの改訂により、カードに記載された生年月日に基づき自己負担分を支払う対応の見直しがされている。

施設入所者の対応について

問 暗証番号があるマイナ保険証を保管するのは介護施設にとっては困難な問題。入所者のマイナ保険証の申請は誰がするのか、具体的な方策ないとも聞かぬが、見解を。

市民環境部長 国から詳しい対応の通知がないため、施設の方々は不安をお持ちと思われる。保険証廃止後は、マイナンバーを申請していない場合は、本人の申請に基づき『資格確認証』を発行することになる。

松浦議員は「70歳以上の高齢者は、収入によって負担割合が違うので、根本的には問題解決にはならない」と指摘しました。



松浦議員は「本人が申請できない場合も多数あるのが現状で、その方々への対応が求められる。また、これほど問題がある制度は、国に対して地方から声を上げるべきだ」と指摘しました。

どこバスについては次号に掲載します。



6月議会で取上げたマイナンバーカードの問題が、その後も問題

が噴出して国民の不安が広がっています。JNNが2日に発表した世論調査では、紙の保険証を来年秋に廃止する政府の方針に対し、73%が「撤回もしくは延期すべきだ」と回答しています。また、マイナンバーをめぐる相次ぐトラブルへの政府の対応について「適切だ」と回答したのが19%、それに対し「適切でない」が72%にも上りました。

岸田内閣の支持率は49.7%と、前回調査より6.0ポイント下落し、不支持率は56.4%と前回より8.1ポイント上がりました。また、政府の少子化対策の財源をめぐる岸田首相の説明に「納得できる」と答えたのはわずか17%で、「納得できない」は71%となりました。

マイナンバーカードの問題多発により、政府の対応に対する不満と不安は募るばかりです。今回の数字はその結果の表れだと思えます。



毎年この時期は、北海道との交渉に向けて、日本共産党議員が要望を出し合います。振興局とは今月19日、道庁とは8月22日に行います。

子ども医療費は、現在の網走では中学生までが入院通院が無料（所得制限あり）になっています。これは毎年のように市に対して新日本婦人の会をはじめ市民の要望があつてできたことです。

今、あらゆるものの値段が上がる中で、家計は大変です。そんな時に、子どもが安心して病院にかかれるかどうかは切実な問題です。北海道の助成は、3歳未満児と非課税世帯が全額助成ですが、小学生の入院と就学前の子の入院通院まで（所得制限あり）と助成の範囲がせまい状況です。全道の市町村が助成している状況ですから、道としてもっと拡充するよう求めています。

また、ホテルの重油漏れ問題の対応やホタテ稚貝のへい死の原因についても確認したいと考えています。

流水

5月に脳梗塞になり、右手に脱力を感じて脳外科を受診したところ、脳

に梗塞がありますね。このまま入院して治療始めますよと言われて、ショック。なぜ私が？どこまで進むかな？どんな後遺症残るかな？不安がつります。これから余計に迷惑をかけてしまうからと、早々に連絡を開始▼右手の脱力のみで、記憶も言葉も大丈夫、よかった。コミュニケーションには、言葉は重要です。マスク生活のなかで表情が乏しくなり、多くの人との会話が躊躇されます。歩く訓練しようにも病室以外はうろろろしないください。コロナにも感染はしたくない▼病室内での会話が励みになりました。いままでの経緯や家族のこと、リハビリのことやこれからのことなど話しました。医師・看護師スタッフと良きコミュニケーションが取れると治療効果が上がると感じました。作業療法・言語療法・理学療法の方々には、丁寧ハリハビリを進めてくださいました▼会話、井戸端会議的コミュニケーションでストレス発散しましょう。すみっこ